



2025. 2. 1

2月 ようちえんだより

幼保連携型認定こども園
西神戸YMCA幼稚園

学園都市にあります「神戸市小規模保育事業 学校法人 神戸YMCA学園 YMCA ちとせ保育ルーム」が今年度末（2025年3月）をもって閉所することになりました。

2015年度に新制度がスタートする先駆けとして、神戸市西区の主に学園都市地域における待機児童の解消の為に2014年度に1、2歳児対象の通園保育施設として開所されました。今年度卒所する子どもを含めると卒所生は96名になります。開所から11年の月日が流れ1番大きな卒所生は中学1年生になりました。新制度も定着し、認定こども園が普及し地域の子育て支援の充実などから地域の待機児童が減少し、私たちの小規模保育事業も十分に地域への子育て支援の役割を果たしたとして事業終了の判断をいたしました。

1月11日（土）には3月の閉所を惜しんで「感謝の集い」が行われ、上は中学1年生から下は3歳児までの卒所生と初年度の保護者も含め多くの保護者、旧職員、現職員が集いお互いに「ありがとうございました」と感謝しあう喜びのひと時となりました。

礼拝では赤ちゃんだった頃から歌ってきた讃美歌を歌い、参加したひとりひとりの名前を呼び、当時の映像と共に懐かしく思い出を振り返りました。卒所生の中には3歳児からは連携園として本園に入園し、卒園していった子どもも多くおります。

陽当たりのよい広々とした室内での「感謝の集い」は懐かしい先生や大きく成長した子どもたちとの再会で温かい空気に包まれました。子どもたちが過ごしたのは1、2歳児の頃で記憶は薄いと思いきや「お部屋のここがお気に入りの場所だった。」「このおもちゃでよく遊んだ。」などの話を教えてくれる子どももいました。保護者の皆様からは「職場復帰をするのにも子どもを預ける保育園がなく困っていたのですが、ちとせ保育ルームに助けられました。」「預ける不安が大きかったのですが、通い出すと温かい先生たちやお友だちと楽しく過ごす我が子を見ていつしか安心感に変わりました。」との声が聞かれました。子どもにとっても保護者にとっても、安心できる“心の拠り所”になっていたことを感じました。思い出話は尽きることなくあらゆる場所で歓談する姿がありました。

ちとせ保育ルームは閉所しますが、ひとりひとりの心の中に生まれた愛はいつまでも消えないと信じています。学校法人神戸YMCA学園のひとつの使命が終わり、また次の使命が神様から与えられることと思います。この地に与えられた西神戸YMCA幼稚園も「キリスト教保育を実践する幼稚園としての使命をしっかりと果たさなくては。」と、思いを新たにす次第でした。

今年度も残すところわずかですが、職員一同、ひとりひとりの子どもたちに愛をもって向き合い、今年度末を迎えたいと思います。

～信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。その中で最も大いなるものは、愛である。
コリントの信徒への手紙一 13-13

【年主題】 『さあ、漕ぎ出そう 奏でよう』

【年主題聖句】 「わたしは道であり、真理であり、命である。」（ヨハネによる福音書 14章 6節）

2月主題 「なかまと心あわせて」

聖 句 「わたしは弱いときにこそ強いからです。」

（コリントの信徒への手紙Ⅱ 12章 10節）